

(様式2)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	48	学校名	宇都宮市立雀宮東小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

## 平成31年度 学習指導に関する取組

### 1 学習指導上の主な実態

#### (1) 国・県・市の学力調査などから

- ・とちぎっ子学習状況調査では、4年生の国語の正答率は市の平均より下回り、算数や理科の正答率は市の平均より上回る結果である。また、5年生の国語の正答率は市の平均と同じであり、算数や理科の正答率は市の平均より上回る結果である。学習内容定着度調査の6年生に関しては、国語や社会、理科の正答率は市の平均を下回り、算数の正答率は市の平均と同等である結果となった。
- ・内容として見ると、4年生の算数の「かけ算、時刻と時間」5年生の算数の「分数、面積・角の大きさ、四角形・立体」、理科の「人の体のつくりと運動」の単元がよくできており、反対に国語の「言語についての知識理解技能」、算数の「単位量あたりの大きさ・速さ」、理科の「ふりこのきまり、水溶液の性質」に課題が見られた。

#### (2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・家庭学習に関しては、学習時間について全学年とも市の目標時間を上回っている。「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」に関しては、2年生以上の学年で、市の肯定回答率を上回っている。「授業で習ったことの復習」に関しては、学年差が見られた。
- ・授業への取組については、約9割の児童が「友達の話をよく聞いている」と答え、約8割の児童が「グループの話合いに進んで参加している」と答えた。

#### (3) 授業等への取組状況から

(よい面)

- ・学校生活において、基本的な学習習慣が身に付いている児童が多い。
- ・体験的な学習において、意欲をもって積極的に取り組むことができる。
- ・自分のめあてに向かって、努力することができる。
- ・お互いの考えの良さに気付き、認め合うことができる。

(改善したい面)

- ・学習意欲が高く、様々な課題に進んで取り組む児童が多く見られるが、学習に対する姿勢に個人差があり、基礎的な学力に課題がある児童も見られる。
- ・自分の意見を、理由をもとにして考えたり伝えたりする力に課題が見られる。
- ・話し合い活動には進んで取り組むが、友達の意見を受けて自分の意見を言ったり、自分の考えと比較したりして、より良い解決の方向を見出していく力に課題が見られる。
- ・規定時間内で問題を解くことや記述問題になると苦手意識をもつ児童も見られる。

### 2 今年度の重点目標

友達との関わりの中で、学び合う力を育む授業の工夫  
～ 個の学びを生かした話し合い活動を通して ～

### 3 今年度の取組 (「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「平成31年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○)

**分かる授業の展開と基礎・基本の確実な定着、学び合う時間の充実に努め、児童一人一人の学ぶ意欲を高めるとともに確かな学力の定着を図る。**

#### (1) 学びに向かう力の育成 (知識・技能の習得, 思考力・判断力・表現力等)

- 学習用具の準備や基本的な学習態度, 学習時の約束 (よい子の学習のきまり) の徹底

- ★○毎日の授業で、「問題→めあて→見通し→個人解決→学び合い→まとめ→振り返り」という基本的な授業の流れの展開
- ★○「話し合いに使う言葉」「つなぐ言葉」の活用を図り、学び合って課題を解決する喜びや考えを深め合うことの楽しさを味わわせる授業の工夫
- ★○児童相互の考えの良さや相違点について考えさせる活動など学び合いの工夫
- 個の学びを生かした話し合いができるような授業づくり

(2) 基礎・基本の定着

- ・ 全国学力・学習状況調査，とちぎっ子学習状況調査，学習内容定着度調査の結果の検証，指導の改善
- ★○全学年で，すずどんチャレンジ国語・算数（全職員による支援体制）や，辞書引き学習の継続による基礎学力の定着
  - ・ 音読や計算の反復練習の継続
- ★ 話の聞き方やノートの取り方，発表の仕方などの基本的な学習態度や学習技能の指導の徹底
- 学習内容や児童の実態に応じた効果的な習熟度別学習，少人数指導，T・T指導の実施
  - ・ 「振り返りの言葉」を使用した授業の最後における振り返り活動の設定
- 既習事項を確認できるすずどんコーナー（学習コーナー）の充実

(3) 自分の考えを深める学習の充実

- 聞く・話す活動を工夫し，児童が自信をもって表現したり話し合った結果を説明したり全体に広げたりする活動の指導・支援
  - ・ 全校統一の学習の流れに沿った授業展開の実施による児童の主体的な学びの継続
  - ・ 日々の授業を重視し，全校体制で授業における指導の基本の徹底（「学習のきまり」「雀宮東小スタンダードの活用）
- 一人一人が見通しをもって学習に取り組めるような学習計画の作成と，自分の学びを確認できる自己評価・相互評価の工夫
  - ・ 分かりやすく整理された板書計画，理解を深めるノート指導
- 学習内容に応じた学習形態，丁寧な机間指導による一人一人の学習状況の把握，個に応じた支援の工夫
- ★ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりに努め，ねらいが明確で，児童が見通しをもって主体的に取り組む授業、分かる喜びや考える楽しさを味わえる授業の展開を目指す教材教具の工夫，視覚的支援・ICTの積極的な活用，学習環境の工夫，スモールステップによる授業展開・授業改善
- 授業における学び合いの時間の充実のための学習形態・学習方法・教師の支援の工夫
- 朝の読書タイムや読み聞かせ等による読書活動の充実
- 土・日・祝日の「家読」の実施
  - ・ 読書の記録やお勧めの本，音読カードの利用
- 読書ボランティアや図書委員による読み聞かせの実施
  - ・ 読書週間活動の充実
  - ・ 宇都宮市立南図書館の活用
- 家庭での読書の推進と読書の習慣化，親子読書の実施
  - ・ 学校支援ボランティアの協力を得た授業や学習支援の実施

(4) 家庭学習の習慣化

- ・ 学校便り・学年便り，ホームページによる情報提供
- ・ 「家庭学習の進め方」を活用した家庭での生活習慣や学習習慣の形成，家庭学習についての情報交換の場の設定
- 「家庭学習パワーアップウィーク」（6月・11月の年2回）の実施
- 振り返りと連携させた家庭学習ノートの活用
  - ・ 家庭学習の手引きや家庭学習の記録簿を活用した家庭学習の習慣化
- 日記指導の工夫と継続